

平成17年度プロジェクトチーム取組内容

開催 順序	情報交換・情報収集内容	協議内容
1	講演：「現場主義のネットワーク形成」報告：「先駆的な地域・職域連携のモデル事業」	
2	事業主旨説明，リーダー選出，	G・W「不安度下げるにはどうしたらいい」
3	講義「健診を考える」 現状と課題の報告・検討	G・W「地域・職域連携で取組めたらいいなあ」
4	講義「働く人を取り巻く健康問題と産業医」 管内中小企業調査実施報告 産業保健センター	G・W「連携事業を出し合おう」
5.6	講義「医療制度改革関連の情報提供」	メンバーが連携事業のアイデアを出し合い決定
7	講演：「健康なまちづくりをめざそう」(A 補ディカカカ)： パネラーは関係者代表	
8	実習：「元気づくり体験」の実際	連携事業を行う各部会メンバーの決定

地域で取組めたらいいなあ～ 『地域も職域も主人公は住民！！』

目 標

健康なまちづくり

☆同じ目標を持った活動 ☆健康意識を高める活動 ☆予防の大切さを自覚する住民

“こうなったらいいなあ”

・具体的なヘルス対策 ・「健康と感じられる人」の増加 ・病気休暇のゼロ

フィードバック

評価

計画実施

- ◆肥満アプローチ
- ◆企業で料理教室をする
- ◆日常運動量の把握
- ◆ポジティブ健康教室
- ◆みんなができる1次予防実施
- ◆職域では健診の義務化
- ◆食事改善
- ◆健診も仕事のひとつ

情報の連携

- ◆情報の共有化→ネットワーク
- ◆情報の有効化
- ◆地域と職域の健康データとリンク
- ◆両方のデータが見られる(管理は別)
- ◆退職時のには過去のデータ-市町村に送るシステムを作る。
- ◆職域の人も地域情報がわかり使えるシステム

情報連携の方法

- ◆地域・職域の情報交換会
- ◆職域の健康教室等の見学会
- ◆地域・職域の定例的な連携会議

サービスのフリーアクセス

- ◆健診等の情報が誰でもわかる
- ◆どちらの健診も受けられる
- ◆地域・職域のどちらの教室も受けられる
- ◆健康相談等の窓口がわかるようにする
- ◆企業退職者を地域に教えてもらえるシステム
- ◆地域の健康教室へ参加誘発
- ◆職域メンタルひきこもり者等の地域において見守り体制をつくる
- ◆トータル的な健康支援ができる体制づくり

- 地域と職域の健康まつり
- オリジナルの健康体操
- 映画をつくる(芸能人を呼ぶ) 題『健康っていいなあ』
- 地域のお店や住民みんなで作る健康まつり

地域・職域に含まない住民への健康づくり